

政策形成事業

ドローンで生き物調査、PR画像の作成、排水機場の点検に活用

ギカイの視点

問 各種講習会負担金の中にドローンの操作講習会が含まれているが、令和5年度の講習は何人受けたのか、ドローンは令和5年度どのように活用されたのか？

答 令和5年度に9人の職員分のドローン資格取得の講習費用を負担金として支払った。また、活用実績については、生き物調査、施設点検、PR画像の作成、排水機場の点検などを行った。

鉄道駅ホームドア設置促進事業

市内3駅に設置

ギカイの視点

問 鉄道駅ホームドアは草加市内全駅に整備されたのか？また、埼玉県と協調して補助を行っているとのことだが、支出負担割合は？

答 令和5年度は谷塚駅・新田駅・草加駅の緩行線に設置。草加駅急行線は令和6年度に整備予定。支出負担割合については、市が負担する金額の割合は、事業費の1%である。

平和大使派遣事業

平和の大切さ、命の尊さについて改めて考える機会を

ギカイの視点

問 平和大使派遣事業、令和5年度の実施内容と前年度比は？

答 平和大使派遣事業については、草加市平和都市宣言の趣旨を広く普及させるため、次世代を担う市内在住の中学生を派遣し、原爆ドームや広島平和記念資料館がある平和記念公園を見

学し、平和に対する理解を深めた。実績については令和5年度は男子生徒3人、女子生徒15人の計18人の応募があり、令和4年度に比べ応募数は4人増加した。

出産・子育て応援給付金事業

給付の経済的支援と育児相談等の伴走型相談支援を一体的に行う事業

ギカイの視点

問 出産・子育て応援給付金事業の内容と実績及び給付金は対象者にどのような形で給付したのか？

答 経済的支援として、妊娠届け出の面談後に5万円、出産後に5万円を給付した。令和5年

度は妊娠中に3,508人、出産後に2,498人に支給した。また、伴走型相談支援として、アンケート等を利用し、妊娠届け出時に1,903人、妊娠8か月時に1,172人、出産後の家庭訪問時に1,729人の相談に応じた。

ふるさと納税推進事業

事業者数が51者、返礼品が283品となり、9者87品の増

ギカイの視点

問 草加市にふるさと納税を行った方に市内特産物の返礼品を贈呈しているが、協力事業者の令和4年度と令和5年度の実績は？

答 令和4年度末で、事業者が42者、品数が196品。令和5年度末で、事業者が51者、品数が283品となり、9者87品増加した。

前立腺がん検診

受診者への負担が少ない検査

ギカイの視点

問 前立腺がん検診の内容と実績は？

答 対象者は50歳以上の男性、市への事前申し込みは不要で、草加市内の指定医療機関に直接申し込み、検診が可能となる。検診期間は7月から12月で実施し、PSA検査という血液

検査で判定しており、受診者への負担は少ない検査となっている。受診者は4,908人、そのうち異常なしが4,160人、要精密検査が628人で、精密検査の結果、前立腺がんの方は65人であった。

子どもの学習支援事業

受け入れ定員145人

ギカイの視点

問 令和5年度の子どもの学習支援事業の受け入れ定員、事業の効果は？

答 令和5年度の受け入れ定員は145人。効果として、小学生は、家庭で楽しんで学習する経験が得られるなど、基礎学力を向上させることができた。

中学3年生は、15人が高校に進学、高校3年生は、5人が大学等へ進学。学習教室や家庭訪問を通じて、学習支援員と信頼関係を築いていく中、保護者や学校の先生以外の大人と相談できる子どもの居場所が提供できた。

中学校部活動推進事業

外部指導者54人

ギカイの視点

問 令和5年度の中学校運動部活動、文化部活動への外部指導者派遣人数と、延べ指導回数

答 令和5年度の運動部活動への外部指導者派遣人数は36人で、文化部活動への外部指導者派遣人数は18人、合計54人

で、延べ1,388回の指導を行った。

